

第29回 日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会関西大会

大会要項

- 1 主 旨 関西サッカー協会及び関西クラブユースサッカー連盟は、日本の将来を担うユース年代選手のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、連盟第3種加盟登録チームの全てが参加できる大会として実施する。
- 2 名 称 第29回 日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会 関西大会
- 3 主 催 関西サッカー協会・関西クラブユースサッカー連盟
- 4 主 管 一般社団法人 和歌山県サッカー協会、公益社団法人 滋賀県サッカー協会
一般社団法人 奈良県サッカー協会、一般社団法人 大阪府サッカー協会
一般社団法人 京都府サッカー協会、一般社団法人 兵庫県サッカー協会
- 5 協 賛 株式会社ガンバ大阪、一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ、
株式会社京都パープルサンガ、株式会社クリムゾンフットボールクラブ、
株式会社モルテン
- 6 期 日 2014年5月31日（土）～6月28日（土）※6月29日（日）予備日
5月31日（土）・6月1日（日）1次ラウンド
6月7日（土）2次ラウンド 第1日
6月8日（日）2次ラウンド 第2日
6月14日（土）2次ラウンド 第3日
6月15日（日）3次ラウンド 1回戦
6月21日（土）3次ラウンド 2回戦、敗者戦
6月22日（日）3次ラウンド 準決勝
6月28日（土）3次ラウンド 決勝・3位・5位～8位決定戦
6月29日（日）予備日
- 7 会 場 大阪府：「J-GREEN堺 S6・S7・S8・S9」
兵庫県：「アスパ五色 メイン・サブ」「淡路佐野運動公園第2・第3サッカー場」
京都府：「宝ヶ池公園球技場」
滋賀県：「水口スポーツの森 多目的グラウンド」
和歌山：「上富田スポーツセンター球技場」
- 8 出場チーム 「高円宮杯U-15サッカーリーグ2014関西」参加12チームと、関西6府県の代表34チーム。大阪（13） 兵庫（8） 京都（4） 滋賀（4） 奈良（3） 和歌山（2）
- 9 出場資格 (公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なお且つ関西クラブユースサッカー連盟に2014年4月15日までに加盟登録したチームであること。
- 1, 出場選手は他のクラブチーム及び中学校サッカー部などに二重登録されていないこと。
 - 2, 1999年（H11）4月2日以降の出生者を対象とする。
 - 3, 出場チームは、15名以上の選手でチーム構成され、うち11名以上は日本サッカー協会第3種加盟登録選手であり、なお且つ1999年（H11）4月2日から2002年（H14）4月1日までの出生者を対象とする。
 - 4, 出場チームは同一下部組織第4種（JFAクラブ申請済みクラブ）登録選手に限り、種別変更（移籍）せず第4種登録選手のまま出場を認める。また、同じクラブ内の同じ年代の女子登録している選手も移籍を行うことなく出場することを認める。
 - 5, 選手は（公財）日本サッカー協会発行の写真付き選手証を所持していること。

6, 予選から本大会に至るまでに、一つのチームで大会メンバー登録した選手は、異なるチームへ 移籍後再び大会メンバー登録することはできない。なお府県大会の大会で予選名が付されていない場合であっても、その大会が実質的に予選を兼ねている場合は、その大会は予選と同じ扱いとなり上記を適用する。

10表 彰

- i 優勝、準優勝、3位チームに表彰状を授与する。
- ii 優勝チームにトロフィーを授与する。準優勝チーム、3位チームに楯を授与する。
- iii 優勝、準優勝各チームの選手25名にメダルを授与する。
- iv 優勝チーム監督に最優秀監督賞を授与する。
- v 参加選手中、最も活躍した選手に最優秀選手賞を授与する。
- vi 参加選手中、投票で選出され最も印象に残った選手に優秀選手賞を授与する。
- vii 大会中最も多く得点した選手を得点王として表彰する。
- viii フェアプレー精神の育成・向上のため、フェアプレー賞を本連盟選考基準に従い選考し、トロフィーを授与する。フェアプレー賞はチーム単位とし、ベスト4に進出したチームの中から選考される。
- ix 1位から8位にまでに「adidas CUP 2014 第29回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会」の出場権を与える。9位～16位までに「2014堺市長杯 JCYインターシティカップ(U-15)WEST」への出場権を与える。

11 大会参加費

¥20,000円 (1次ラウンド出場チーム) / ¥60,000円 (2次ラウンドから出場チーム)
平成26年5月30日(金)までに振込

1次ラウンド勝利チームは平成26年6月20日(金)、までに60,000円をお振込み下さい。

--

第 29 回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会関西大会

大 会 規 定

□ 競 技 方 法

- 1) 46 チーム中、サンライズリーグ出場 12 チーム及び各府県大会優勝 6 チームを除く 28 チームがノックアウト方式の 1 次ラウンドを行い、勝者チームが 2 次ラウンドに進出する。2 次ラウンドはシード 18 チームを含む 32 チームを A~H までの 8 グループに分けグループリーグを行い、各グループの上位 2 チームがノックアウト方式で行われる、3 次ラウンドに進出する。
- 2) ルールは日本サッカー協会発行「サッカー競技規則 2014/2015」による。
- 3) 試合時間は 1 次・2 次ラウンド 70 分 (ハーフタイムは 10 分) とし、3 次ラウンドは 80 分 (ハーフタイム 10 分) とする。1 次ラウンドでは競技時間内に勝敗の決らない場合は 5 分間の休憩後 20 分の延長戦を行い、なお決らない場合は PK 戦方式により勝敗を決定する。2 次ラウンドのグループリーグにおいては競技時間内に勝敗の決まらない場合は引き分けとする。3 次ラウンドでは競技時間内に勝敗の決しない場合は、PK 戦方式により勝敗を決定する。
- 4) 2 次ラウンドのグループリーグ戦の順位決定は以下のとおりとする。
 - ① : 勝点は、勝ち=3 点、引分け=1 点、負け=0 点とし、勝ち点の多いほうを上位とする。
 - ② : 勝点と同じ場合は得失点差の多い方を上位とする。
 - ③ : 得失点差が同じ場合は得点の多い方を上位とする。
 - ④ : ③で得点も同じ場合は当該チーム同士の対戦結果にて決定する。なお引分けの場合は抽選とする。
- 5) 5 位以降の順位決定は以下のとおりとする。
 - ① : 準々決勝に進出したチームが上位となる。
 - ② : ①のチームで、ベスト 4 の最終順位の上位に入ったチームに、負けたチームから順位付けする。
 - ③ : ①②に該当しないチームは、抽選とする。
- 6) 全国大会出場チーム
トーナメント戦により、上位 8 チームが「adidas CUP 2014 第 29 回日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会」に出場する。トーナメント戦により、9 位~16 位の 8 チームに「2014 堺市長杯 JCY インターシティカップ (U-15) WEST」への出場権を与える。
- 7) 警告・退場
大会期間中、警告の累積が 2 回になった選手は次の 1 試合に出場できない。
退場を命ぜられた選手は、次の 1 試合に出場できない。その後の処置については、大会規律フェアプレー委員会にて決定する。大会規律フェアプレー委員会のメンバーは大会委員長、関西クラブユースサッカー連盟理事長、副理事長 (U-15)・U-15 担当理事に関西サッカー協会規律フェアプレー委員長を加えたメンバーで構成する。本大会と「日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会」は懲罰規定上の同一競技会とみなし、本大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は「日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会」において順次消化する。
- 8) 選手登録用紙 (関西クラブユースサッカー連盟印のある写し) は、第 1 試合は開始 60 分前までに、第 2 試合以降は、前の試合のハーフタイム時に、会場本部へ 3 部提出する。
試合毎の登録は交代選手を含め 20 名までとし、うち 5 名までの交代を認める。なお、各試合の登録後試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが当該試合への出場することが不可能であると、当該試合競技責任者が判断した場合のみエントリー内容を変更することができる。
- 9) ユニフォームは、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを用意し、試合会場に持っていくこと。

(GKを含む)背番号は、大会エントリー時の番号を正・副ともに一致させ使用する。ユニフォームの前面・背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号をつけなければならない。また、ショーツの番号についてはつけることが望ましい。スパッツの色はショーツと同じ色のものを使用すること。なおユニフォームの色・選手番号の大会エントリー以降の変更は認めない。その他詳細は、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に準じるが第5条 [ユニフォームの色彩] 1項は適用しない。着用するユニフォームが、通常審判員が着用する黒色と明確に判別できない場合は、チームで主審1名、副審2名の審判服のシャツを2色分合計6着用しなければならない。

- 1 0) 試合において、出場する選手は日本サッカー協会発行の選手証を会場本部に提示し確認を受ける。選手証の不携帯、若しくは選手証に写真を貼っていない場合は出場を認めない。救済処置として選手証を提示できない場合で、顔写真がはっきり判別できる選手証の写し(カラーコピーのみ有効)を提示できる場合はその選手は試合に出場することができる。
- 1 1) 参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律フェアプレー委員会にて決定する。
- 1 2) 選手の登録は、選手15名以上30名以内とする。スタッフ登録数の制限は設けない。
- 1 3) ベンチへの入場は、スタッフ5名以内、選手20名以内とする。チームベンチは、会場本部席からグラウンドに向かって左側ベンチをプログラム【大会スケジュール】の左側に表記されているチームのベンチとし、対戦チームを右側とする。
- 1 4) 登録選手は、必ず全員が傷害保険に加入していること。試合会場での怪我は応急処置を主催者側で行うが、それ以降はチームにて処置すること。また、試合会場での事故、その他トラブルについても主催者側は対応しないものとし、チームにて対処すること。
- 1 5) 試合終了後の挨拶は両選手の握手をもって終了とする。
- 1 6) キックオフ時に選手が11名に満たないチームは棄権とみなす。2次ラウンドのグループリーグで棄権のあった場合は、当該チームの試合を0-5の敗戦とする。これによってすでに行われた試合にさかのぼることはしない。1次ラウンド・3次ラウンド決勝トーナメントと順位決定トーナメントで棄権があった場合スコアは0-5の負けとする。いかなる理由も認められない。
- 1 7) 試合球 5号検定球 アディダス「b r a z u c a」

関西大会事務局

〒669-1535 三田市南が丘1丁目20-23-B101

F C A Z A L E A三田事務局内

第29回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

関西大会事務局 中本

第29回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会 関西大会

大会規定細則

第1条 選手証不携帯の場合の処置

1. メンバー表提出のときに選手証を提示できない場合はその選手は試合に出場することができない。
2. 救済処置としてメンバー表提出のときに選手証を提示できない場合で、顔写真がはっきり判別できる選手証の写し（カラーコピーのみ有効）を提示できる場合はその選手は試合に出場することができる。

第2条 ユニフォーム不携帯の場合の処置

1. ユニフォームを携帯しない選手は試合に出場することはできない。
2. ユニフォームを携帯しない選手が出場できる代替措置はいかなる理由において行わない。

第3条 ユニフォーム不ぞろいの場合の処置

1. ユニフォームが登録時の色、選手番号と異なる選手は試合に出場することは出来ない。
2. 形式が異なるユニフォームを使用することは出来ない。形式とは色彩、デザイン等を指す。チーム内で形式が異なるユニフォームが混在する場合はどちらかのユニフォームに統一し、形式の異なるユニフォームの使用は認められず、当該選手は試合に出場することは出来ない。

第4条 表彰規定

1. 最優秀選手の表彰は「日本クラブユースサッカー選手権 (U - 15) 大会関西大会最優秀選手選出規定」による。
2. 優秀選手の表彰は「日本クラブユースサッカー選手権 (U - 15) 大会関西大会優秀選手選出規定」による。
3. 得点王の表彰は「日本クラブユースサッカー選手権 (U - 15) 大会関西大会得点王選出規定」による。
4. 最優秀監督賞の表彰は「日本クラブユースサッカー選手権 (U - 15) 大会関西大会最優秀監督賞選出規定」による。
5. フェアプレー賞の表彰は「日本クラブユースサッカー選手権 (U - 15) 大会関西大会フェアプレー賞選出規定」による。